

【河川】 出前講座「水害から身を守る防災」の取り組み

平成30年9月14日
山形河川国道事務所

1. 目的

出前講座とは、みなさんの国土交通行政に関する日頃のハテナ？や興味のある点について、職員が持つ知見や最新情報等を交えつつ、わかりやすくお話させていただくものです。

今回は、米沢市立南原小学校からの「日頃の備えと水害発生時の行動について自分たちに出来ることを学びたい」との要請を受けて、「近年多発している水害から身を守るためにどのような行動をすべきか」ということについて、様々な水防活動体験を交えた防災講座を実施しました。

2. 実施概要

【出前講座受講者】

米沢市立南原小学校 4年生 全29名（教員2名含む）

～実施項目～

○水害の怖さを知ろう！

- ⇒羽越水害とは？
- ⇒近年の豪雨災害

※羽越水害の映像や近年の水害写真等を見て、水害時の怖さや大変さを考える。

○被害に遭わないために！

- ⇒被害を防止するためにしていること
- ⇒被害に遭わないため出来ることは？

※これまでの堤防整備やダム整備などの治水対策を説明し、それでも発生する水害への対処法を一緒に考えてみる。

○命を守るための行動「覚えよう防災知識」！

- ⇒ハザードマップって何？
- ⇒自分出来ること

※ハザードマップを説明し、実際にハザードマップ上に避難ルートを表示し仮想避難を行った。
また、水害が予想される場合に自分出来ることを学ぶ。
(避難準備、河川情報の取得、親や地域への声かけなど)

○体験してみよう水防技術！

- ⇒雨の重さを体験してみよう
- ⇒身近なもので浸水被害を防ごう

※体験を通して、水害の怖さや簡易水防工法などを学ぶ。

3. 第2回の状況



対話型による出前講座実施状況



体験形式でハザードマップを学習

～マップ上で避難所まで逃げてみよう！
避難途中に危険な箇所は無いかな？～



時間30mmの
雨の重さを体験



水土のう作りを体験